

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成27年度第3回大学職員情報化研究講習会運営委員会 議事内容

- I. 日 時：平成28年3月16日(水) 14:00から16:00
II. 場 所：アルカディア市ヶ谷(私学会館)
III. 参加者：木村委員長、遠藤副委員長、志田委員、深谷委員、鈴木委員、吉田委員、大竹委員、毛利委員、齋藤委員、田中幸委員、田中康委員、柿本委員、川崎委員
事務局：井端事務局長、野本(記)

IV. 検討事項

来年度の大学職員情報化研究講習会開催に向けて、基礎講習コースとICT活用コースについて参加者アンケートを参考に振り返りを行い、課題について以下のような検討があった。

1. 基礎講習コースについて

- ・ グループ討議は、概ね良いディスカッションが出来た感想であったが、最初の段階では手探り状態で進め方もままならない感じが見うけられた。
- ・ 中間発表について否定的な意見があったが、他班の意見を聞いたかったという以前のアンケートのような声はなくなったことから、中間での報告は良かったと考えるが、意図が上手く伝わっていなかったと推測され、説明時に強調してはどうか。
- ・ メンバー構成については、年齢・所属の関係で混在させるか揃えた方が良いか要望がわかれていたが、プレゼンでの結果を求めるより、情報・知識の習得により主体的に取り組む考察力の獲得が目標で様々な視点で気付きのためにグループは混在の方が良いのではないか。
- ・ 班・グループ以外とのコミュニケーションを求める意見があり、例えばフリーディスカッションの場で同じ部門が集合できる形などを工夫してはどうか。
- ・ 情報提供はポータルシステムなど普段利用する題材であったため、参加者の感想から情報関連以外の部署にも馴染みやすく良かったように思われた。
- ・ 情報提供では、初年次研修、職員として基礎的なもの、業務関連の興味、教学マネジメントへ職員の関わり・教職協働、大学人として知らなくてはならないこと、アクティブ・ラーニング・PBL・IRなどの用語とICT関連、セキュリティ・リテラシなどの付属知識、教育改革の知識など大学の実状理解として持ち帰らせる必要があるのではないか。
- ・ 大学改革の必要性、危機意識を持たせ、教員のコーディネータになる必要性、ICT利活用を含めた基礎知識について、例えば入試改革なども含めてイントロダクション・情報提供で行うことを検討してはどうか。

2. ICT活用コースについて

- ・ 情報提供形式で実施し、質疑応答として質問シートを利用した意見交換により理解をふかめることができたとの意見があった。
- ・ 今回は平日の教室運営に余裕がなく会場の決定が困難であり、土曜日の開催による参加者減の影響があったとも考えられる。12月の後半の開催は時期的に良くなかったと思われる。
- ・ 大学を利用することは施設見学できる点で興味を得られたとの意見があった。
- ・ 日程は、時間的に不足しているとの意見もあり、議論で理解を深めることや討議の希望など1泊2日での開催希望もあったが、日帰りなので行けたとの声もあり、大学の研修予算縮小傾向も考慮する必要がある。
- ・ 参加に向けた大学の現状では、職員の人数がすくなく担当者が現場を離れにくく研修に出にくい環境にある。また、責任者クラスは出せて一人程度と思われる。
- ・ 開催時期は、12月でなくとも11月でもどうか、土曜なので行けたとの意見もあることから時期を考慮しての土曜でもどうか、学園祭の時期ではどうかなどの意見があった。

V. 今後のスケジュール

- ・ 次回委員会開催はメールで調整し、基礎講習コース開催要項の検討を行うことにしている。